

人間じんかんにう生まれて

“つながりを生きよう” 322

本堂は一瞬にして
煙を出してつぶれました

僕らお寺に生まれたものはなんとなく住まいはずっと残るものだろうと思っていました、しかし妻は倒れるんじゃないかととても怖がっていました。

西山郷光

毎月の正信偈の会は皆さんの座談会が中心になっています。先日はこんな意見がありました。

「正月一日は神様や仏様にお願いする日なのに、当日にこのような悲しいことが起きてはたして神や仏は何をしていたのでしょか?」

「お経の意識を読んでいるのですけれども『私は限りなくいつまでも、大いなる恵みの主となり、力もなく苦しんでいる者を広く救うことができ

ないようなら誓って仏にはなりません』とあるのに、先日の震災やガザ地区の苦しんでおられる方々は救われないのでしょうか」と問いを立てられました。とても関心を持たれる問いだったので、皆さんと話し合いました。

そして最後に「私はこの会に来てお寺の存在意義は人それぞれとの出会いの場であると思っただけ」と言って行かれました。能登地震でのお寺の被災を思うとき、いつも寺の存在意義を自問します。このように思ってください。

門徒さんが支えて下さっていることに喜びを感じました。

能登半島震災支援チャリティコンサートは天候が悪く、多くの方にお越し下さいました。ありがとうございます。皆様からいただいた支援金箱のお金はこれまでのもものも含め、今回報告くださった珠洲飯田町の西山郷光君に復興に使ってもらおうように託しました。

6月真敬寺行事予定

- 2日(日) 日曜学校 午前9時
- 10日(月) 正信偈の会 午後1時半
- 14日(金) 永代祠堂経会
午前 門徒追悼絵
午後 法話 瓜生崇さん
- 15日(土) 永代祠堂経会
法話 瓜生崇さん
- 16日(日) 日曜学校 午前9時

定例聞法会法話の聞書

立教開宗800年『大経』から

鈴木 君代 さん
京都市嵯峨野



「私であった人々」

善知識にあうことも

おしうることもまたかたし

よくきくこともかたければ

信ずることもなおかたし

「善知識」は、「善き人」ですね。自分をひっくり返してくれるような、

自分の人生がまるごとひっくり返るような、目が覚めて知らされるような人には遇い難い、そしてその人から教えを得ることも、よく聞くことも、難ければ、信ずることもなお難い、と仰るのですね。

どうですか？遇うということは本当に難しいことだと、表現されていますね。しかし、そうかと思えば「遇いがたくして今すでに得たり」とも書かれてありますね。矛盾しているように思いますが、私たちは遇いがたいことにすでに遇ってはいるのだけれども、一瞬のことなので、掴む(得る)ことは出来ないということなのでですね。

「信ずることが難しい」とは、私が信ずるのではないんだと知らされます。一瞬、私のところに届くのだけれども、その、であいの一瞬一瞬

をいただくのが親鸞聖人の仏教の教えなのです。

皆さんどうですか、お金っていくらあってもいいんでしょうけれど、持って死ねないでしょう。では、いったい何を持っていいこうとしていますか。

私は両親が早くから離婚してしかも早くに亡くなって、おばさんのところで育てられてきました。私は子供のころから死ぬことばかり考えていたんですよ。それに、八年ほど前に自分をまるごと否定されることがあった、御飯を食べられなくなって、寝られなくなって、十二キロ痩せました。

今は少しずつ回復してきています。今現在に至るまで、お聴聞に行かせていただいたり、こういう場に出させていただいていることが、私

の生きる力になっています。

蓮如様の御文に「死ぬことも生きることも出来ない、後生の一大事がはつきりしないと死ぬことも生きることも出来ない」とあります。このたび、私が師事した先生、和田しげし穰先生からいただいた聖典を開いてみてみたら、「善知識に遇うことも：」のところに傍線が引いてありました。先生はそのところを教えてくださいました。先生が言葉を大事にされていました。先生が言葉を大事にされてそこに線が書いてあります。そう思うと、もつともつとお聖教をいただかないと、私は死ぬに死ねないと思っています。

先生からいただいた聖典を開くと、自分のところで固まって、思いに破れて落ち込んでいる自分に、先生が『いのち』の願いの世界に生きるのだ」とずっと言われていた言葉

が響いてきます。

先ほど、三年前に亡くなった、京都の砺波詰所のお世話をしてくださっていた真理子さんのお連れ合いとお話をしました。「あなたの話を聞いて、真理子が京都でどんな思いでいたのかわかりました」と言ってくれました。真理子さんはいつも笑顔でした、「お念仏をいただいていると笑顔しか出てこんのや」とおっしゃっていました。辛いこともあるし苦しいこともある、そこに一瞬間の時をいただいたら笑顔しか出てこないのですね。

今日、そこにお参りしておられる彼女は、愛知県から朝五時半に出て、ここ竹内まで来られました。彼女をここに運んでくれた、彼女を動かすものがあるのですね。

私も和田先生を追いかけて遠くまでついて行きました。先生が亡くなられた今、先生も聴聞しておられたように私にも聴聞しか無いのだと思っています。

現実を生きる私たちは、毎日毎日変わっていきます。変わっていく私は止むことがありません。聴聞にも終わりがありません。「わかったことにはならない」のです。御文にも「心得たと思うのは心得ていない」とありますように次々と新しい問いが生まれてきます。繰り返しいただくようになっていきます。

皆さんはオウム真理教はご存じでしょうか。その中の一人、井上嘉浩さんが死刑執行され今年七回忌になりますか。私はその井上嘉浩さんと拘置所ですと面会していたんです。私が「死刑から守る会」に文章を

書いて投稿したら井上さんから逢いたいと連絡があり、文通から始まり、面会することとなりました。

私は若いころ、たまたま井上さんと同じ京都の太秦に住んでいました。自殺の本ばかり読んでいた私は、近くのお寺の住職に「いのち」のことを教わり、お坊さんになりたいと思いました。私は、たまたま親鸞の教えに出遇ったのです。けれども、彼は、仏教を学びたいと思い、たまたま『オウム神仙の会』という本を手にとったことがきっかけとなって入信し、麻原彰晃という人とサリン事件を起こしたのです、

続きは動画でお聞き下さい

実際のお話は
YouTubeで



6月の聞法会は

永代祠堂経会 14日(金)・15日(土)

14日(金)

午前9時30分～

門徒追悼会

午後1時30分～

法話 講師 瓜生崇さん

15日(土)

午前9時30分～

法話 講師 瓜生崇さん

午後1時30分～

能登半島震災支援チャリティーコンサートには多くの方にお越しいただき、また、多くの支援をいただき、ありがとうございます。先日、能登の友人から、震災から数か月、地割れがじわじわと広がっているとか、家の前に穴が開いてきたとかいうことを聞きました。辛いことですが、これも大きな自然の営みのあらわれなのでしょう。被災地から離れた私には何ができるのか、問われている気がします。

南無阿弥陀仏

(坊守より)

発行 〒939-1664富山県南砺市竹内440
真宗大谷派(東) 小塚山真敬寺 宮地修
0763-52-0196 携帯電話090-3760-5692



shinkyouji.com

検索

